



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の 感染状況を踏まえた献血制限に該当する 献血者受入れ開始について

2026年9月28日
令和8年度第2回 薬事審議会
血液事業部会運営委員会

vCJDに関連する献血制限の撤廃にかかる通知



医薬発0115第3号
令和8年1月15日

日本赤十字社血液事業本部長 殿

厚生労働省医薬局長
(公印省略)

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の感染状況を踏まえた献血制限に係る 関係通知の廃止について

平素より血液事業の推進に格別の御理解と御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

採血時の問診に当たっては、国内において変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の発生が確認されたことを受け、「採血時の欧州等滞在歴による献血制限の見直しの実施について」（平成21年12月11日付け薬食発1211第6号医薬食品局長通知）及び「ヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤に係る問診の強化について」（平成18年9月11日付け薬食発第0911001号医薬食品局長通知）により、特定の海外地域に一定期間滞在していた者及びプラセンタ注射剤の使用歴を有する者からの採血を見合わせるよう、対応をお願いしているところです。今般、薬事審議会血液事業部会安全技術調査会において、これらの献血制限を見直すことについて審議が行われ、国内外におけるvCJDの発生状況、国内における感染リスクの評価結果及び諸外国における献血制限の状況等を総合的に勘案した結果、上記制限を撤廃することが適当であるとの方針が示されました。

つきましては、この方針に基づき、特定の海外地域における滞在歴及びプラセンタ注射剤の使用歴に関する献血制限の撤廃を速やかに実施できるよう、貴職において必要な体制整備を行うとともに、準備が整い次第、速やかに実施してください。

(続き)



また、実施に当たっては、実施日等について事前に報告願います。

併せて、貴管下の各血液センターに対し、当該措置の趣旨及び内容を十分に周知し、採血に御協力いただいている献血者等に対しても適切に説明がなされるよう、特段の御配慮をお願いいたします。

なお、これに伴い、下記の関係通知は、上記の措置が開始されたことを以て廃止します。

記

以下の通知を廃止する。

「採血時の欧州等滞在歴による献血制限の見直しについて」（平成21年12月11日付け薬食発1211第6号、第7号）

「採血時の欧州等滞在歴による献血制限の見直しの実施について」（平成22年1月14日付け薬食血発0114第1号、第2号）

「ヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤に係る問診の強化について」（平成18年9月11日付け薬食発第0911001号、0911002号）



欧州等滞在歴に係る献血制限の見直しについて

2026年4月1日

日本では、献血時の問診において、国内における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の発生を踏まえ、血液製剤の安全性確保を目的とした恒久的な措置として、昭和55年(1980年)以降に特定の海外地域に一定期間滞在された方からの献血のご協力をお控えいただいております。

このたび、薬事審議会血液事業部会安全技術調査会での審議結果を踏まえ、厚生労働省から当該海外滞在歴に関する献血制限について令和8年(2026年)秋ごろを目安に撤廃する方針が示され、現在、献血受入開始に向けた準備を進めております。献血受入開始日については、決定次第、本ホームページにてお知らせします。

今後、これまで海外滞在歴により献血をお控えいただいていた方についても、献血にご協力いただけるようになりますので、献血へのご協力をお願いします。

※ 海外で何らかの感染性疾患に罹患したまま帰国(入国)する可能性を考慮し、帰国後4週間の献血制限は継続します。

参考:対象となる滞在国および滞在期間について

【現行の献血制限】

▼欧州等滞在歴を有する方（平成22年1月27日～）

滞在国	通算滞在歴	滞在時期
	1か月以上	

https://www.jrc.or.jp/donation/blood/news/2026/0401_vCJD.html

問診項目削除前（システム改修前）の該当献血者受入手順



献血受付



受付担当



献血者

受付担当者は、【**献血永久不適**】の該当項目がプラセンタ、英国・欧州渡航歴のみであることを確認し、**これらを削除する様式**を作成する

問診回答



献血者

献血者は**vCJD関連の問診項目には「該当あり」（はい）で回答する**（虚偽申告はできないため）

問診室



健診医



献血者

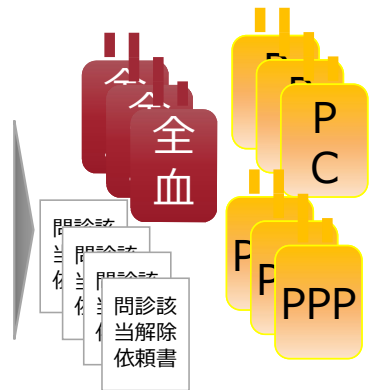
健診医は問診回答の内容を確認し、vCJD関連項目を**「該当なし」に変更する**（変更理由を入力する）

→ **「採血可」の指示**

採血前検査・採血



通常通りの採血を行う



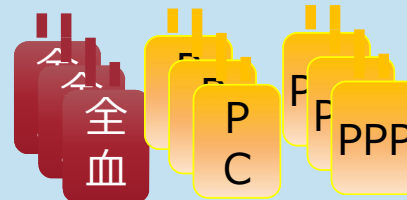
原料血液を製造所へ搬送

ブロック血液センター



【**献血永久不適**】
フラグを削除

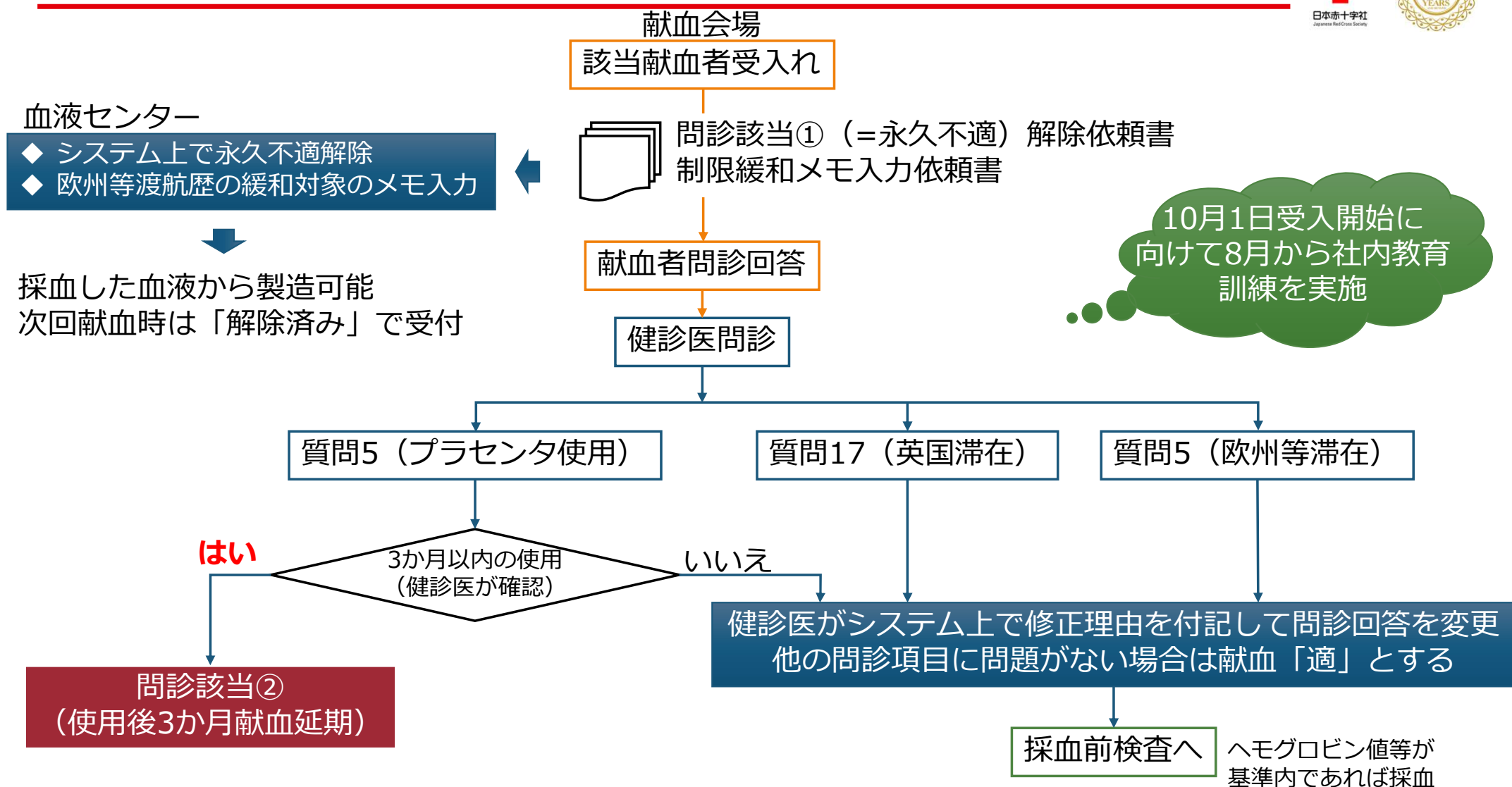
製造所



原料血液の受入

輸血用血液や
原料血漿の製造

対応フロー





【9/14 プレスリリース】

Press Release



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。

赤十字について

寄付する

国内災害救援について

プレスリリース

2026年9月14日

英国を含む欧州などの滞在歴に基づく献血制限の撤廃およびヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴に関する献血基準を変更します

報道機関 各位

2026年9月14日

2026年10月1日から新たな献血基準の運用を開始
英国を含む欧州などの滞在歴に基づく献血制限の撤廃および
ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴に関する献血基準を変更します

■見直しの背景

欧州などの滞在歴およびヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴に基づく献血制限は、英国を中心とした牛海綿状脳症(BSE)の流行と、輸血による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)伝播の可能性を踏まえ、血液製剤の安全性を確保するための予防的措置として実施してきました。

2026年1月14日に開催された厚生労働省の薬事審議会血液事業部会安全技術調査会において、国内外のvCJD発生状況、厚生労働科学研究による感染リスク評価、諸外国における献血制限の状況などを総合的に勘案し、欧州などの滞在歴およびプラセンタ注射剤使用歴に基づく制限を撤廃することが適当であるとの方針が示されました。

■vCJDに関係する献血制限の主な経緯

時期	主な動き
1999年	1980～1996年に英国へ6か月以上滞在した方を対象に、献血制限を開始。
2005年	国内初のvCJD症例確認*を受け、英国滞在歴の基準を「1日以上」に強化。
2006年	ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤の使用歴がある方について、献血をご遠慮いただく取扱いを開始。
2010年	英国滞在歴の基準を「1日以上」から「1か月以上」に緩和。
2022年以降	米国、豪州などで、欧州滞在歴に基づく献血制限の撤廃が進展。
2026年1月	薬事審議会血液事業部会安全技術調査会において、国内の感染リスク評価などを踏まえ、制限撤廃の方針を提示。
2026年10月	日本赤十字社が新しい献血基準を運用開始。

*国内初のvCJD症例…英国に24日間程度、フランスに3日間程度滞在歴のある症例

■2026年10月1日からの取り扱いについて

項目	2026年9月30日まで(改定前)	2026年10月1日から(改定後)
欧州等などの在歴	vCJD対象地域・期間の滞在歴により、献血をご遠慮いただく場合があります。	vCJD対策として実施してきた滞在歴、献血をご遠慮いただく場合がありません。

英国を含む欧州などの滞在歴に基づく献血制限の撤廃および
ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴に関する献血基準
を変更します

<https://www.jrc.or.jp/press/>

2026年10月1日からの取り扱いについて

項目	2026年9月30日まで(改定前)	2026年10月1日から(改定後)
欧州などの在歴	vCJD対象地域・期間の滞在歴により、献血をご遠慮いただく場合があります。	vCJD対策として実施してきた滞在歴に基づく献血制限を撤廃します。
国内承認のプラセンタ注射剤 ラエンネック/メルスモン	使用歴がある方は、期間を定めず基本的に献血をご遠慮いただく必要があります。	最終使用日から3か月間は献血をご遠慮いただきます。3か月経過後は献血可能となります。

※海外からの帰国日(入国日)当日から4週間以内の献血制限など、他の感染症対策や健康状態などに基づく献血基準は引き続き適用されます。
なお、最終的な献血の可否は、当日の医師および健診医の判断によります。

安全性について

安全性については、厚生労働科学研究において、献血によるvCJD感染リスクの評価が行われています。

同研究では、日本独自の献血モデルを用い、英国でBSE流行に伴うvCJD感染リスクが高かった1980～1996年に1か月以上滞在した日本人を対象に、献血を起点とする感染リスクを推計しました。

最大リスクを想定した複数のシナリオを食めて評価した結果、英国滞在歴に基づく制限を撤廃しても、これにより国内のvCJD患者が増加することはないと推論付けられています。

なお、国内では2005年に確認された1例以降、新たなvCJD患者の発生は報告されていません。諸外国においても、リスク評価を踏まえて欧州滞在歴に基づく献血制限を撤廃する動きが進んでいます。

これまで本基準により献血をご遠慮いただいていた皆さまへ

これまで長期にわたり献血をご遠慮いただいた皆さまのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

今回の基準変更により新たに献血にご協力いただける皆さまは、ぜひ献血へのご協力をお願いいたします。

【日赤ホームページ・血液センターホームページへの掲載】



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。

赤十字について

寄付する

国内災害救護について

国際活動について

献血について

赤十字ボランティア・
青少年赤十字について

【令和8年10月1日から】英国を含む欧州等滞在歴に基づく献血制限の撤廃 ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴に関する献血基準の変更

今般、令和8年1月14日に開催された厚生労働省の軍事審議会血液事業部会安全技術調査会において、上記の献血制限の見直しについて審議が行われ、国内外における変異型クローンフェルト・ヤコブ病(vCJD)の発生状況、国内における感染リスクの評価結果および諸外国における献血制限の状況などを総合的に勘案した結果、当該制限を撤廃することが適当であるとの方針が示されました。

これにより、令和8年10月1日から、欧州等に滞在歴のある方やヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤を使用した方にも、献血にご協力いただけるようになります。

詳細を見る

<https://www.jrc.or.jp/donation/information/>



日本赤十字社 東京都赤十字血液センター

Google 提供

よくあるご質問 | サイトマップ | お問い合わせ

Japanese Red Cross Society



献血する



献血いただく方へ



血液のゆくえ



ありがとうの声



献血を広げよう



スペシャル



施設案内

【重要なお知らせ】

【お知らせ】 変異型クローンフェルト・ヤコブ病に関する献血基準を変更します

2026年9月14日

【お知らせ】 受付時間を延長します(9月・献血ルーム)

2026年9月11日

【お知らせ】 献血お願いの電話依頼について(9/8更新)

2026年9月 8日

<https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/tokyo/>

【献血会場等のポスター掲示】

プラセンタ注射薬
欧州滞在歴に関する
献血制限が緩和されました

2026年10月1日より変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（VCJD）に関連する献血制限が一部撤廃されました。

献血にご協力いただける方

- 1 欧州滞在歴がある方**
 - 英国に通算1か月を超えて滞在された方
 - 欧州滞在歴により献血不可と言われた方

ただし帰国後4週間以内は献血できません。
- 2 ヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤の使用歴がある方**

⚠ 使用後3か月以内は献血できません

対象薬剤
・ラエンネック・メルスモン

あなたの献血が命をつなぎます
献血された血液は、手術や治療を受ける多くの患者さんのために使用されています。これまで献血できなかった方も、ぜひこの機会に献血へのご協力をおねがいいたします。

詳細は献血会場スタッフへお尋ねいただくか、日本赤十字社ホームページをご確認ください。

日本赤十字社
ホームページ
詳しくはこちら

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

【献血Web会員サービス「ラブラッド」配信】

日本赤十字社
献血Web会員サービス ラブラッド

FAQ 登録情報の変更 ログアウト

マイページ 献血の予約 献血記録の確認 献血ポイントの確認 ミラブラッドな声

日本赤十字社からのお知らせ

【お知らせ】変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に関する献血基準を変更します

【2026年10月1日から】英国を含む欧州などの滞在歴に基づく献血制限の撤廃およびヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤使用歴に関する献血基準を変更します。

(2026/09/14)

詳細はこちら

※1 https://www.jrc.or.jp/donation/information/detail_07/

マイページに戻る

ラブラッド

献血カード

ご予約の上、献血にお越しください

【お知らせ】変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に関する献血基準を変更します

【不具合】Android端末においてアプリで献血予約ができません

【お知らせ】日本赤十字社創立150周年特設サイトが稼働しました

【お知らせ】献血カード・献血手帳の新規発行が開始されました

【不具合】お気に入りの献血ルームを変更できません

【不具合】献血記録が一部欠落している件について

【お知らせ】事前問診回答機能について

【お知らせ】サービス利用可能時間のお知らせ

お知らせ一覧を閉じる

その他SNS（X、Facebook、Instagram等）においても
広報予定

今後の予定



- 問診システムから変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に関連する英国・欧州等渡航歴に関連する項目を削除するシステム改修を進める
- 欧州等渡航歴による献血制限の撤廃後、献血に来場された献血者数などの検証を実施予定
- 孤発性及び家族性クロイツフェルト・ヤコブ病、ヒト成長ホルモン剤の使用、角膜移植、硬膜移植等の既往については引き続き問診を行い、該当する場合は献血をご遠慮いただく
- 欧州等渡航歴に関する献血後情報の対応（輸血用血液製剤や原料血漿の供給・送付停止や回収等）は9月30日をもって終了